

個性豊かな作品たち 第38回くりやま芸術祭

第38回くりやま芸術祭が10月13日～16日にかけてカルチャープラザ「Eki」で行われました。絵手紙やちぎり絵などの絵画作品をはじめ、書道、陶芸、盆栽など多数の作品を展示。町内在住の保育園・幼稚園児の作品展も同時に開かれ、多くの来場者が会場に足を運びました。



交通事故死ゼロ1000日を達成 栗山町交通安全協会

栗山町内での「交通事故死ゼロ1000日」が9月14日をもって達成されたことを受け、栗山町交通安全協会が北海道交通安全推進委員会より表彰を受けました。10月7日、同協会の小澤茂晴会長、交通安全指導員部の山崎信治部長が役場を訪れ佐々木学町長に受賞を報告しました。



歴史を語り継ぐ 栗山ふるさと学講座

「栗山ふるさと学講座」が9月28日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。栗山町史第3巻「平成史」の編さんに携わった阿部敏夫さんを講師に迎え「平成の栗山を訪れる」をテーマに実施。歴史的背景に目を向けることの重要性など、栗山の歴史について講話を行いました。



みんなで列車に乗ってみよう 栗山小学校2年生がJR室蘭線に体験乗車

栗山小学校（松本伸彦校長）の2年生56人が、9月22日、29日にJR室蘭線の体験乗車を行いました。JR追分駅の島田康寛駅長から乗車する際の注意事項を聞いた後、栗山駅から改札を通過して由仁駅までの乗車を体験。子どもたちは早く乗りたい気持ちを膨らませながら、笑顔で列車の到着を待っていました。



自己ベストを目指して 第1回くりやまハーフマラソン

第1回くりやまハーフマラソンが10月16日に開かれました。令和元年で幕を閉じた町陸上競技協会主催のマラソン大会を町民で構成される実行委員会が引き継ぎ、今回が初めての開催。道内外から1,286人のランナーが参加し、自然豊かな田園風景を眺めながら目標タイムを目指して汗を流しました。



サギや泥棒にご用心 実践型防犯教室

「実践型防犯教室」が10月12日、栗山警察署で行われました。教室には日頃防犯活動を行う関係者約10人が参加。特殊詐欺やピッキングなどの対策について講演が行われました。講師を務めた防犯設備士の高橋佳嗣さんは「わずかな外出でも窓やドアをしっかり施錠してほしい」と呼びかけました。



地元開催で全道大会出場 くりやまFC

町内のサッカーチームくりやまFCが10月8日、9日に「JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会北海道大会」に出場しました。空知地区U-12サッカーリーグで1位通過し、出場権を獲得。大会はふじスポーツ広場で行われ、初戦でコンサドーレ東川に4-2で勝利するなど、ベスト8という結果を収めました。



お米のチカラ、肌で感じる 町内の小学校稲刈り体験

町内小学校の授業の一環として、稲作学習が9月に行われました。活動では春に植えた稲の刈り取り、運搬、はさがけを体験。鎌で一つ一つ丁寧に刈り取っていき、全員で協力しながら作業を行いました。児童たちにとって、作業やお米の説明を通じて食の大切さを学ぶ貴重な体験となりました。

